

【平成30年度 活動報告】

- ★4月13日 読売新聞社東京本社医療部より、アトピー性皮膚炎の新薬について取材を受け、4月27日に掲載。
- ★4月16日 患者から見たアレルギー疾患対策推進研究会開催。
- ★5月8日 毎日新聞本社を訪問し、春季講演会開催案内依頼及びアレルギー疾患問題で意見交換。
- ★5月16日 参議院議員会館にて「医療基本法」制定に向けての院内集會に、患者の声協議会長谷川会長と参加。
- ★6月2日 第117回日本皮膚科学会総会学術大会スポンサードシンポジウム「アトピー性皮膚炎におけるステロイドの功罪」にて患者の立場から講演
- ★6月10日 平成30年度春季講演会「専門医に聞く良くなるための治療最前線」及び総会を開催。
[後援：厚生労働省、東京都、(公社)日本医師会、(一社)日本アレルギー学会、(公財)日本アレルギー協会、(独)環境再生保全機構、(公財)日本皮膚科学会東京支部]
総会 平成29年度の事業報告・決算報告、30年度活動計画が承認。
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎患者である皮膚科医が考える治療手段の選び方」
獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科主任教授 片桐一元先生
講演2「ぜんそく治療をなぜ続けるか、どのようなとき続けるべきか」
帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学教授 長瀬洋之先生
講演3 ミニ講演「患者が知りたい検査値の見方」
喘息部門 河北総合病院アレルギー科 庄司俊輔先生
アトピー性皮膚炎部門 東京通信病院 副院長兼皮膚科部長 江藤隆史先生
第二部「講師を囲んでのQ&A」参加者からの個別質問に講師・常任顧問が回答。
- ★6月22～24日 第67回日本アレルギー学会学術大会に出展・広報活動。
- ★7月8日 立川市にて乳がん患者団体ブーゲンビリアの講演会「いのちのバトン、薬はみんなで作るものパート10」で医師と患者のコミュニケーション アレルギー患者の立場で講演。
- ★8月12日 当会事務所にてアトピー部門夏休み勉強会と患者交流会実施、9名参加。
- ★8月24日 社員向け研修用資材への作成協力（アレルギー患者の持つ悩み等への理解のために）
- ★8月25日 当会事務所にて喘息部門夏休み勉強会と患者交流会を実施。
- ★8月27日 平成30年度第2回埼玉県アレルギー疾患医療連絡協議会」に出席。
- ★9月14日 患者の声協議会 世話人会に出席。当会事務所にてサービスグラント中間検討会。
- ★9月15日 第28回日本産業衛生学会全国協議会 ランチョンセミナーにて演題「職域におけるアレルギー患者への受診奨励と、就労と治療の両立支援」にて、患者の悩み・苦しみ・要望について講演。
- ★10月7日～11日 喘息患者アドバイザーボード会議（チューリッヒにて）に出席。
- ★10月12日 患者の声協議会 世話人会及び元医政局長伊藤雅治氏と懇談。
- ★10月16日 厚生労働省がん・疾病対策課 担当官とアトピー性皮膚炎のデジタル化・アプリについて懇談。
- ★11月4日 平成30年度秋季講演会「ここまで来た最新治療」を、フォーラムミカサ エコにて開催。
[後援：厚生労働省・東京都・(公社)日本医師会(一社)日本アレルギー学会・(公財)日本アレルギー協会・(独法)環境再生保全機構・(公社)日本皮膚科学会東京支部]
第一部 講演1「広がるアトピー性皮膚炎治療の選択肢」
東京女子医科大学皮膚科准教授 常深 祐一郎己先生
講演2「喘息治療に正面から向き合うコツ」
昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科部門 主任教授
昭和大学病院副院長 相良 博典先生
講演3 「治療薬、正しく使っていますか」
喘息部門 あなたの吸入チェック：桜井修子さん
アトピー性皮膚炎部門 あなたの塗り方チェック：池上裕子さん
第二部 「講師を囲んでQ&A」参加者からの個別質問に、講師・常任顧問が回答。
- ★11月10日 第70回日本皮膚科学会西部支部(松江)学術大会シンポジウムにて患者の立場から講演。
- ★11月18日 奈良県イオンモール大和郡山で開催されたアトピー性皮膚炎公開講座の相談コーナーを担当。
- ★11月23日 アトピー性皮膚炎疾病負荷の認知拡大のための活動へ協力。
- ★1月15日 患者から見たアレルギー疾患対策推進研究会に出席。
- ★1月20日 エパレク新年特別市民講座「自己管理を学ぶ」に出席。
- ★2月17日 第25回アレルギー週間 中央講演会 日本アレルギー協会・環境再生保全機構 主催 にてブースを設置・啓発活動。

- ★2月23日 実践ぜんそく講座と患者交流会[必見！最新お薬手帳の活用法!]講師：管理薬剤師 黒木博隆先生
- ★2月24日 実践アトピー講座と患者交流会[アトピーでも楽しめるメイクアップとスキンケア]講師：アクセース
株式会社植木由香さん

【その他通年事業】

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療の情報提供。
- ★ 電話・メール・FAX・来所等による療養相談が年間 162 件(うちメール相談 37 件)あり、相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を実施。
- ★ 講演会での講演を会員の希望者・WEB 会員に動画で配信。
- ★ 患者交流会を毎月開催。
- ★ ホームページ・Facebook・ツイッター・インスタグラムの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に最新情報と当会活動を発信。
- ★ メールマガジンを毎月発行し、多くの患者に情報提供を行なった。(メールマガジン会員 466 名)
- ★ イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続。
- ★ 患者からみたアレルギー疾患対策推進研究会に参画し、アレルギー疾患の社会への啓発活動を行なった。

【2019 年度事業計画】

1. 患者による療養相談

毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に応じ（メール相談は随時）、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。

2. 月刊紙「あおぞら」の発行

気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として機関紙を発行する。

3. 専門医による講演会の開催

疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。

4. 患者交流会の開催

当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第四火曜日に開催する。

5. アレルギー週間協賛行事の開催

アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。

6. ホームページ・SNSを通じた情報発信

ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。

7. メールマガジンの発行

メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。

8. 患者会として社会への情報発信

患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。

9. 他団体・企業との啓発活動

他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する幅広い啓発活動等を行う。

10. 創立 50 周年開催

創立 50 周年記念行事として、記念講演会、記念誌・映像作成、機関紙「あおぞら」の刷新を行う。

11. 患者から見たアレルギー疾患対策推進研究会に参画

アレルギー疾患対策と患者生活の質の向上をめざしアレルギー疾患対策推進研究会に参画する。

12. 当会 WEB 戦略の構築と現代のニーズに合った改定

当会公式ホームページをリニューアルし、現代のニーズに合ったコンテンツと戦略的な活用を行う。